

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	都市計画（Urban planning）		
ナンバリングコード	L30409	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 建築計画
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	コース選択必修:環境地域(まち)コース、環境地域(社会)コース 選択:建築設計コース、建築工学コース、住居・インテリアコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L040902	クラス名	-
担当教員名	福田 健		
履修上の注意、 履修条件	履修条件は特にありません。 毎回の講義は、プリントとパワーポイント資料を用いて行います。中間試験(第8回目)、期末試験ではプリントの内容を中心に出题するので、毎回の講義に必ず出席し、講義内容をよく理解することを心掛けてください。(試験は持ち込み不可) 毎回出欠を取り、10分以上の遅刻を「遅刻」、30分以上の遅刻を「欠席」とします。		
教科書	プリントを配布します。		
参考文献及び指定図書	伊藤雅春 他「都市計画とまちづくりが分かる本 第二版」彰国社／萩島哲 他「シリーズ〈建築工学〉7 都市計画」朝倉書店／都市史図集編集委員会「都市史図集」彰国社／森田哲夫 他「図説わかる都市計画」学芸出版社		
関連科目	ランドスケープ、建築計画、建築法規など		

○基本情報		
授業の目的	本講義では、都市計画の歴史から法制度の概要まで、都市計画に関する幅広い知識の修得を目的とします。100年以上前の歴史的な出来事であっても、現在私たちが暮らす街にも多大な影響を与えていることがあります。また、法制度に関する内容は、実践的な知識となるよう、身近な事例を交えて解説します。 一級・二級建築士学科試験や宅地建物取引士試験で出題される内容も可能な限り取り入れています。本講義を通じて、都市計画への関心を高めてください。	
授業の概要	第1～7回目の講義は、世界と日本の都市計画史について解説します。第8回目は中間試験を実施します。第9～12回目は、都市計画法・景観法について解説し、第13回目は各自で調査した内容を発表してもらいます。第14～15回目は、都市と経済、情報について解説し、第16回目に期末試験を実施します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	自然環境や歴史、法制度といったさまざまな側面から成る現代の都市に対して、疑問や問題意識を持ち、主体的に情報を収集できる。	10点	10点	
【知識・理解】	都市計画に関する専門用語を理解している。	50点		
【技能・表現・コミュニケーション】	調べた内容が十分に伝わるプレゼンテーションができる。		10点	5点
【思考・判断・創造】	都市で発生する現象の背景・要因を自分なり考察できる。将来の望ましい都市計画に対して自分なりの展望を持っている。	10点	5点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
成績は100点を、概ね以下の割合で評価します。 ・中間試験:30% ・期末試験:40% ・課題提出・発表:30%	
試験や課題の結果に対するフィードバックは翌週以降に行います。	

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	都市計画（Urban planning） 福田 健	授業コード	L040902
学修内容				
1. オリエンテーション・世界の都市計画史Ⅰ：古代～中世				
古代～中世における、各国の主要都市の成立背景や特徴について解説します。古代都市としてオリエントの専制主義国家、古代ギリシア・ローマの都市国家、中世都市としてヨーロッパの主要都市を取り上げます。また、計画都市と自然発生的都市の違いについて学びます。				
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。			
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。			約2時間
2. 世界の都市計画史Ⅱ：近世				
近世ヨーロッパの主要都市の成立背景や特徴について解説します。14世紀ルネサンス期の理想都市や城塞都市、16世紀以降のローマ改造、バロック期の都市美化に焦点を当てて学びます。				
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。			約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。			約2時間
3. 世界の都市計画史Ⅲ：近代①				
産業革命に伴う大都市問題を契機に発展した近代都市計画について学びます。パリやウィーンの都市改造、イギリスの資本家階級による都市計画を取り上げます。また、近代都市計画に大きな影響を及ぼ与えたハワードの田園都市論について詳しく解説します。				
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。			約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。			約2時間
4. 世界の都市計画史Ⅲ：近代②				
アメリカで発展した近隣住区論の理論と実践について解説します。加えて、T. ガルニエやコルビュジェによる機能主義的都市計画、J. ジェイコブスやK. リンチによる新しい都市計画論についても学びます。				
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。			約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。			約2時間
5. 日本の都市計画史Ⅰ：古代～近世				
日本における古代都市のモデルとなった古代中国の理想都市について解説します。また、古代～近世の代表的な都市の事例を取り上げ、その変遷や空間構造について学びます。				
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。			約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。			約2時間
6. 日本の都市計画史Ⅱ：近代				
明治期以降の東京および主要都市の計画について解説します。また、東京市区改正を契機とした都市計画法の整備過程を学ぶとともに、関東大震災後の帝都復興計画や、西欧の影響を受けた東京緑化計画など、特筆すべき都市計画について詳しく解説します。				
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。			約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。			約2時間
7. 日本の都市計画史Ⅲ：戦後				
戦災復興の観点から、戦後の主要都市における計画について解説します。高山英華や丹下健三といった都市計画家・建築家の果たした役割について学びます。また、戦後の住宅政策の三本柱（住宅金融公庫、公営住宅法、日本住宅公団）について解説します。				
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。			約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。			約2時間
8. 中間試験、大分県の都市計画				
大分県の都市計画を事例に、身近な都市計画の変遷について学びます。				
また、これまでの講義内容を範囲とした中間試験を実施します。				
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。			約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。			約2時間

○授業計画		科目名 担当教員	都市計画（Urban planning） 福田 健	授業コード	L040902
学修内容					
9. 都市計画法Ⅰ：総合的な計画					
都市計画法におけるマスタープランの概念について学びます。また、戦後日本の国土開発の歴史を、全国総合開発計画の策定過程とともに解説します。					
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。				約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。				約2時間
10. 都市計画法Ⅱ：都市計画実現のための制度					
都市計画法における、土地利用（区域区分、用途地域）、都市施設、市街地開発事業（土地区画整理事業）、開発許可について解説します。					
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。				約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。				約2時間
11. 都市計画法Ⅲ：事例研究					
用途地域や土地区画整理事業に関する具体的な事例を取り上げ、都市計画法と日常生活とどのように関わっているか解説します。また、地方自治体における都市計画業務について解説します。					
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。				約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。				約2時間
12. まちなみづくり					
景観法など、良好な景観を維持するための制度について解説します。また、景観まちづくりの具体的な事例を紹介し、都市の美観向上に向けた取り組みについて学びます。					
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。				約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。				約2時間
13. 課題発表					
都市計画マスタープランがよく表れている自治体の事例や、都市計画に関する興味深い取り組みについて各自で調査し、代表者が調査結果を共有します。					
予習	発表者は発表練習、発表者以外は発表資料に目を通しておく。				約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。				約2時間
14. 都市と経済					
都市開発や更新を促す制度について解説します。都市戦略としての規制緩和や企業誘致について学び、都市と経済の関係を考察します。					
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。				約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。				約2時間
15. 都市と情報					
都市の現状調査や問題解決の方法として、ビッグデータやGIS（地理情報システム）の活用について考えます。実際のデータの活用事例を紹介し、将来のデータ活用の可能性について考察します。					
予習	次週の学修予定内容に対し、各自で事前に調べておく。				約2時間
復習	講義で出てきた用語や地域、人名について、各自で調べ確認しておく。				約2時間
16. 期末試験					
これまでの講義内容を範囲とした期末試験を行います。					
予習	これまでの範囲についての授業内容や配布資料を見直しておく。				約2時間
復習					